

平成26年度庄内自然博物館構想推進協議会

日時:平成26年4月17日(木) 13:30~15:30

会場:鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

… 次 第 …

1. 開 会

2. 挨拶

3. 自己紹介

4. 報 告

平成25年度庄内自然博物館構想推進事業について

5. 協 議

(1) 平成26年度庄内自然博物館構想推進事業(案)について

(2) その他

6. 閉 会

庄内自然博物館構想推進協議会 委員名簿

NO	所属団体	所属役職	協議会 役職	氏名	出欠	代理者
1	大山自治会	会長	会長	橋本 正輝	○	
2	西郷自治会	会長	副会長	菅原 晃治	○	
3	加茂地区自治振興会	会長		田中 正志	×	
4	湯野浜地区自治会	会長		阿部 喜美男	○	
5	出羽商工会大山支所	代表理事		太田 明雄	×	
6	大山観光協会	会長		齋藤 勝元	代	副会長 榎本庸幸
7	JA鶴岡	大山支所長		伊藤 正男	×	
8	生産組合長会	会長		阿部 正利		
9	庄内赤川土地改良区	理事長		渡部 敏美	代	工務部長 阿部 俊
10	西郷土地改良区	理事長		阿部 和夫	×	
11	大山公園再生協議会	副会長		大瀧 喜弘	○	
12	庄内森林管理署	署長		伊巻 和貴	×	
13	羽黒自然保護官事務所	自然保護官		柘植 規江	○	
14	自然学習交流館	館長		植松 芳平	○	
15	尾浦の自然を守る会	会長	副会長	太田 威	○	
16	出羽三山の自然を守る会	自然教室担当		長南 厚	○	
17	水野野生生物調査室	主宰		水野 重紀	×	
18	庄内自然博物館運営委員会	委員長		平 智	○	
19	庄内自然博物館運営委員会	副委員長		山田 直	○	
20	庄内自然博物館運営委員会	副委員長		林田 光祐	○	
21	庄内総合支庁産業経済部農村計画課	森林技監兼課長		森屋 孝	×	
22	庄内総合支庁産業経済部森林整備課森づくり推進室	室長		後藤 徹	○	
23	庄内総合支庁環境課	課長		相澤 栄司	代	環境企画専門員 小野勇太
24	鶴岡市企画部	部長		三浦 総一郎	○	
25	鶴岡市農林水産部農山漁村振興課	課長		小笠原 健	○	
26	鶴岡市建設部土木課	課長		佐藤 正明	代	主査 荒井 滋
27	鶴岡市健康福祉部子育て推進課	課長		齋藤 功	○	
28	鶴岡市商工観光部観光物産課	課長		永壽 祥司	代	主査 藤澤 実
29	鶴岡市市民部環境課	課長		五十嵐 満	○	
30	鶴岡市教育委員会学校教育課	課長		生田 浩樹	代	長澤 忠
顧問	庄内自然博物館（仮称）構想地域推進協議会	前会長	顧問	中浜 裕	○	
事務局	鶴岡市企画部地域振興課	課長		阿部 真一	○	
事務局	鶴岡市企画部地域振興課	主査		伊藤 慶也	○	
事務局	鶴岡市企画部地域振興課	専門員		吉田 修	○	
事務局	鶴岡市企画部地域振興課	学芸員		上山 剛司	○	

平成 25 年度 庄内自然博物館構想推進協議会経過報告

1. 協議会

期 日：4月18日（木）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

協議内容：平成25年度庄内自然博物館構想推進事業（案）について

2. 運営委員会

2-1. 第1回運営委員会

期 日：6月10日（月）

会 場：総合健康福祉センター「にこ・ふる」

報告内容：運営委員会設置要綱、運営委員の公募、自然活動監視活動について

協議内容：構想推進事業、ワーキンググループ等のあり方について

2-2. 第2回運営委員会

期 日：8月26日（月）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

報告内容：推進事業実施経過、ワーキンググループ等の状況、情報連絡体制、
研修視察について

協議内容：構想推進事業、都沢湿地管理について

2-3. 第3回運営委員会

期 日：12月18日（水）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

報告内容：推進事業実施経過、研修視察、上池の放水、都沢湿地の攪乱について

協議内容：構想推進事業、各種連絡体制について

2-4. 第4回運営委員会

期 日：3月12日（水）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」

報告内容：推進事業実施経過、研修視察等について

協議内容：平成26年度構想推進体制（案）、平成26年度推進事業（案）について

3. 鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」開館1周年記念「里山マルシェ」

期 日：11月3日（月）

会 場：鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」・都沢湿地

事業内容：外来生物料理試食会、「ほとすけ」を探せ、ススキのミミズクづくり

大山商店奉仕会、パン工房麦麦、庄内産直センター等団体の出展

参加者：約700名

平成 25 年度 鶴岡市自然学習交流館ほとりあ事業報告

1. 館内利用状況 * () 内はH24年度

1-1. 来館者数 (詳細は別紙①参照)

H25年の4月から3月までの来館者数(平日、土日祝日)および年度別来館者数を下記する。

H25年度来館者数は 28,380名である(27,699名)

1日の平均来館者数: 92.1名(90.2名)

平日の平均来館者: 71.2名(73.5名)

土日祝日平均来館者: 125.9名(121.6名)

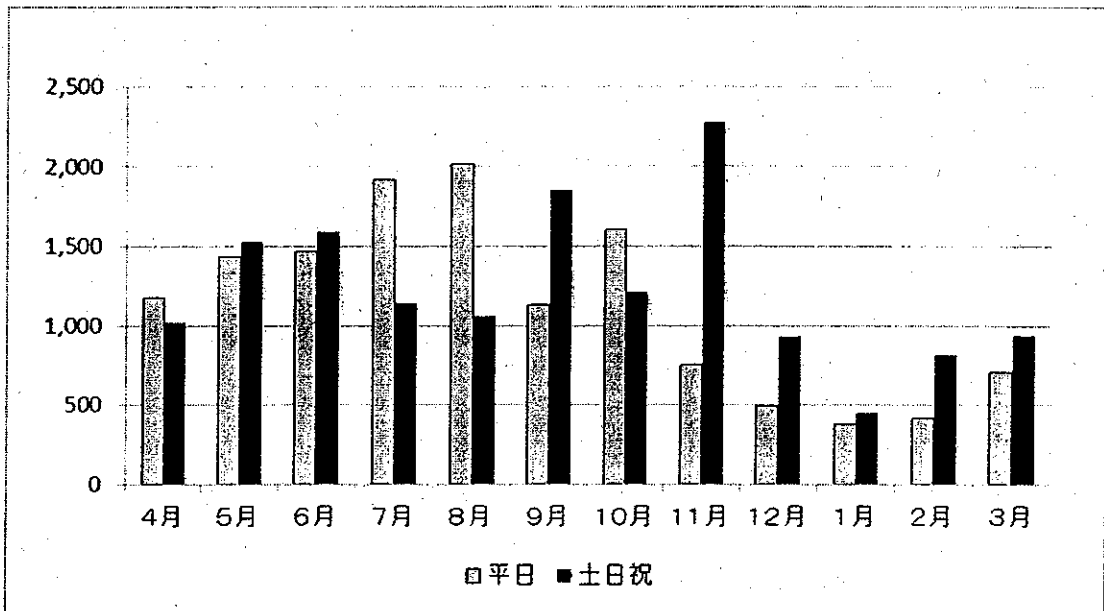


図1 平成25年度 平日、土日祝日の月別来館者データ

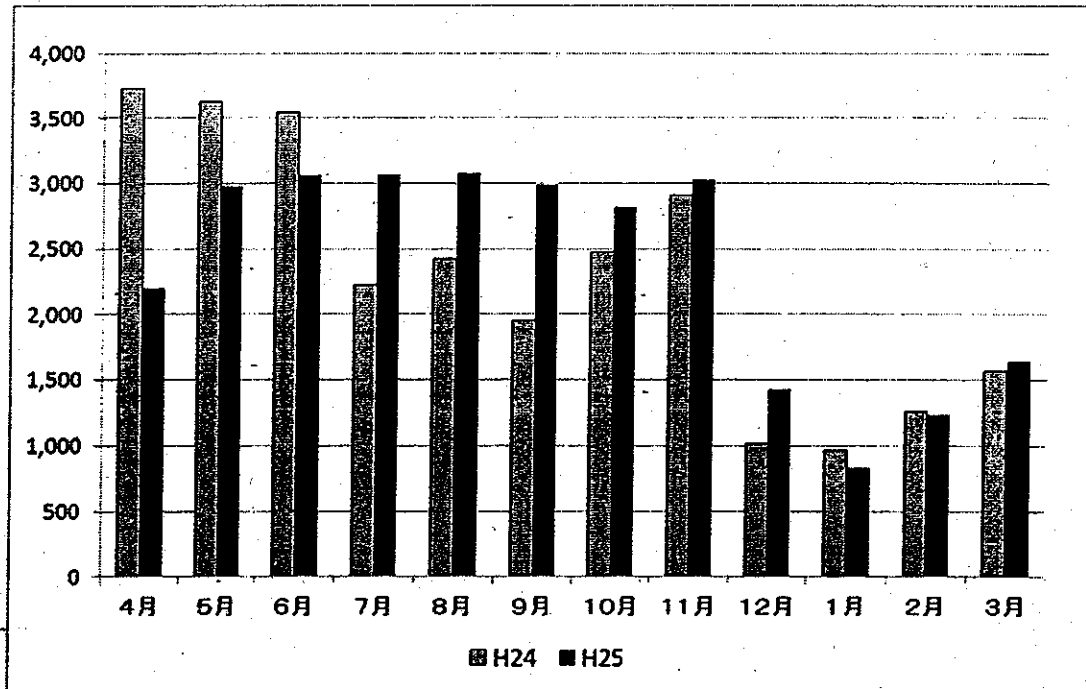


図2 H24、H25年度 月別来館者データ

1-2. 学習交流室利用

4月から3月まで91団体(120団体)、2,430名(2,713名)

表1. 学習交流室の目的別団体利用状況(月別)

	学習	研修	会議	レクリエーション	視察	その他	合計
4月		3	1	3			7
5月	1	1		3			5
6月	8	4					12
7月	3	4		2			9
8月	4	2					6
9月	3	7		6			16
10月	2	5		5			12
11月	1	4		1			6
12月	3	2		2			7
1月	3						3
2月	3			2			5
3月	3						3
合計	34	32	1	24	0	0	91

1-3. まったり Cafe

4月30日～3月31日までの合計:(61,041円)

1-4. ほとりあショップ

書籍15冊(20冊)、絵葉書24枚(2枚) 37,805円(30,915円)

1-5. 太陽光発電

太陽光パネル:15枚設置(1枚の容量は180W、15枚×180W=2.7kW)

月平均発電量予想:200.1kWh、月平均発電量:222.01kWh(197.7kWh)

表2. H24、H25年度 月別太陽光発電量

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H24	268.2	308.4	267	274.9	290.2	222.3	185.7	102.9	77.1	86.4	116.7	200.5	2400.3
H25	311.1	306.1	188.1	267.6	367.7	*	*	91	49.6	69.8	95.7	231.2	1977.9
H25	286.3	333.7	391.2	230.8	316.0	302.0	238.5	133.0	64.8	60.6	97.2	210.0	2664.1

2. 保安全管理

2-1. 湿地保全イベント

実施体制：保安全管理ワーキンググループ、サポーター、地域振興課、ほとりあ
実施及び参加者総数：年4回実施（7回）、144名（134名）

回数	月日	内容	人数
1	6月16日	南側新水路の草刈り	27
2	9月7日	下池堤体の外来植物駆除(アメリカセンダングサ、ブタクサ)	45
3	10月5日	・北・中央区域のアメリカセンダングサの駆除	36
4	10月19日	・北・中央区域のセイタカアワダチソウの駆除 ・親水水路のニセアカシアの駆除 ・泥んこ広場の幼生駆除方法の試行 ・年間活動振り返り	36

2-2. 外来生物駆除（詳細は別紙②参照）

実施体制：有償活動（約150時間）

① ウシガエル捕獲状況

【捕獲日数及びワナ数】

6月2日～10月28日の期間に46日間、1720罟を設置し、捕獲を実施。
(2012年は、5月24日～11月16日の期間に54日、855罟)

【捕獲結果】：成体498個体（116個体）、幼体1,937個体（-）

② アメリカザリガニ捕獲状況

【捕獲日数及びワナ数】

6月2日～10月28日の期間に46日間、1720罟を設置し、捕獲を実施。

【捕獲結果】：13,359個体 大12,875、小484、(6,031個体 大4,948、小1,083)

2-3. 外来植物駆除

実施期間：初夏～秋

実施体制：サポーター（約20時間）、研修・教育学習（約50時間）

有償活動（約20時間）

研修・教育：(大山小学校総合学習など)

2-4. 草刈り作業

実施期間：初夏～秋（第3期）

実施日数：21日

作業時間：174.5時間

実施者：地元農家（指定管理者事業）



2-5. 巡視業務

実施回数：月2回程度

巡視回数：24回

実施者：自然に詳しい個人に依頼（有償活動：4名）

3. イベント事業（詳細は別紙③参照）

3-1. 自然観察会

12回 141名

3-2. 自然学習会 里山Cafe（学習発表会含む）

12回 287名

3-3. 里地里山学講座

6回 136名

3-4. いのち学

3回 65名

3-5. お茶っこ会

目的：地域連携、地域資源の発掘事業

対象：大山地域住民、サポーター、関係者

実施日、回数：1～3月に各1回の3回

参加者：28名

3-6. 里山マルシェ

目的：ほとりあでの取り組みの紹介及び地域連携

実施日：11月3日

参加者：約700名

3-7. ワークショップ事業

開催ワークショップ（折り紙、読み聞かせ、薪ストーブ、ペレットなど）

11回 442名

3-8. クリスマスミニコンサート

12月23日 約200名



4. 展示事業

4-1. 館内展示

春…さくら展示、春の植物展示、春の野鳥展示

切手で見る世界の野鳥展示

大山犬まつり「めっけ考」展示

夏…ほとりあ周辺の虫たち展示

生物多様性パネル、七夕展示

秋…猛禽類展、カエル展示、自然の豊かさにあう絵本展

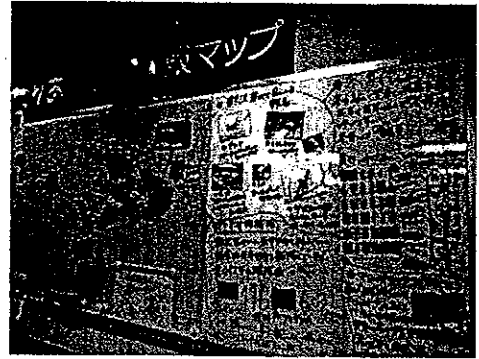
冬…俵雪と雷展、太田威氏「カタクリ」展

まったりルーム：市民貸し出し4団体が使用



4-2. その他

生きもの情報マップ



5. サポーター事業

5-1. サポーター登録数

3月31日現在 148名

5-2. サポーター券発行

3月31日現在 572枚(414枚)

5-3. サポーター定例会開催

年5回開催

5-4. ワーキンググループ活動

ギフトチョウ、ホテル、里山マルシェ、保全管理ワーキンググループが活動

5-5. サークル活動

歴史文化グループ

5-5. ほとりあ学習発表会

実施日：3月8日(土)

発表者：大山小学校、加茂水産高校、サポーターを含め個人・団体40名の方が発表

5-6. 里山先進地視察研修

実施日：2月25日(火)

研修先：福島潟(新潟市)

参加者：19名(サポーター、自治会、地域振興課、ほとりあスタッフ)

6. その他

6-1. 地域連携

大山新酒・酒蔵まつり実行委員会に参加

6-2. 調査委託・調査協力事業

山形大学農学部など

6-3. 施設リーフレットの改定



平成 25 年度 庄内自然博物館構想推進事業 決算

項 目	当初予算額	支 出 額	予 算 残 額	摘 要
報償費	658,000	655,900	2,100	講師謝礼 協力スタッフ謝礼 委員会出席謝礼
旅費	106,000	50,067	55,933	講師旅費 視察研修他
需用費	1,120,000	1,045,617	74,383	里山利活用消耗品 自然学習消耗品 コピー機費用 食糧費、修繕料 チラシ等印刷費
役務費	192,000	141,597	50,403	サポーター等保険 料、電話料他
委託費	800,000	726,161	73,839	重機による攪乱 調査費
合 計	2,876,000	2,619,342	256,658	執行率 91.07%

※ 上記の予算額は、市の直接経費の経費のうち、専任スタッフの賃金や光熱水費等の経常経費を除いたものである。

※ 外来種駆除等の湿地保全費用は、指定管理委託料からの支出としている。

平成26年度庄内自然博物館構想推進体制（フロー図）（案）

■ 組織

(1) 庄内自然博物館構想推進協議会（年1回） 4月

(2) 関係機関調整会議（年2回程度）

- ・ 構想推進のため情報を共有し、課題について関係機関との調整を図る。
（H26は上池、下池・都沢湿地の水管理等について検証し、関係機関との調整を図る。）
- ・ 委員は関係機関・団体の代表者及び有識者。

(3) 専門委員会（年1回）

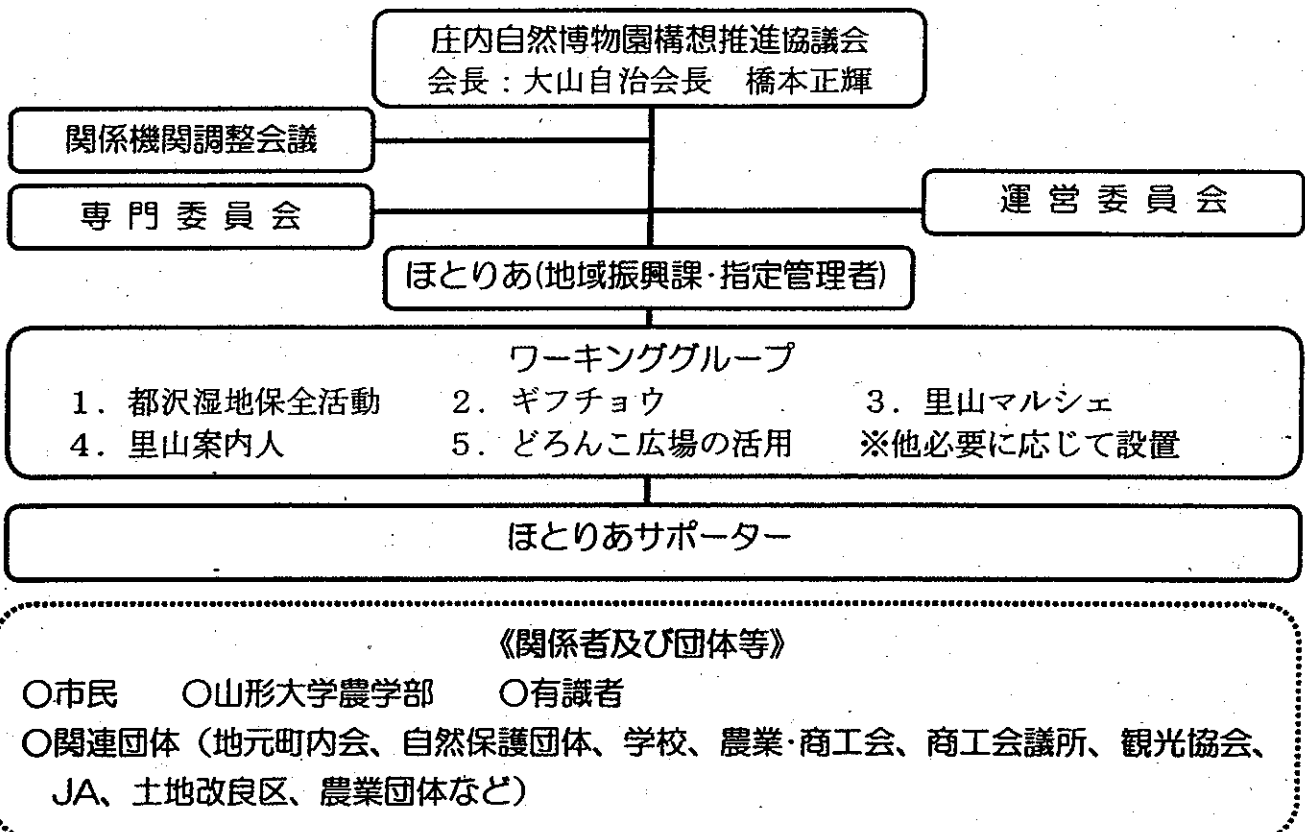
- ・ 事業を専門的な視点から検証し、必要があれば改善のアドバイスをする。
- ・ 構想の中長期的な計画を策定する。
- ・ 構想エリアにおける自然再生事業等について調査検討する。
- ・ 委員は8名程度。

(4) 運営委員会（年3回） 5月、12月、3月

- ・ 構想及び中長期の計画を受けて、年次の運営計画（活動計画）を策定する。
- ・ 各事業・イベントの企画・実施は、それぞれのワーキンググループを基本とし、全体的な調整及び情報の共有を図る。
- ・ 運営委員は約12名程度（現委員の任期はH26年度まで）

(5) ワーキンググループ（班）

- ・ 事業実施に必要な関係機関との調整事項は、ワーキンググループごとに調整する。
- ・ 各ワーキンググループは、事務局及び他のグループとの連絡を密にする。
- ・ サポーター及び市民が参画しやすい仕組みを構築する。



平成 26 年度 鶴岡市自然学習交流館ほとりあ事業計画案

1. 保全管理事業

- 1-1. 外来生物駆除（ウシガエル、アメリカザリガニ）
実施期間：6月～10月
実施場所：都沢湿地、下池周辺も検討
体 制：有償活動（約 180 時間）
- 1-2. 外来植物駆除（セイタカアワダチソウ、ブタクサ、アメリカセンダングサなど）
実施期間：5月～10月
実施場所：都沢湿地、下池堤体（西郷土地改良区管理場所も検討）
体 制：サポーター、地域、企業活動など（*活動状況を見ながら有償活動も検討）
- 1-3. 草刈り作業
実施期間：年 3 回（6, 7, 9 月）
実施場所：都沢湿地
体 制：有償活動（昨年度は約 170 時間）
- 1-4. 湿地保全管理イベント事業（別紙参照①）
実施数：年 5 回（昨年度は 4 回）
体 制：ワーキンググループ（保全計画）
参加条件：原則サポーター、関係機関や地域住民の参加協力もお願いしたい。
- 1-5. 巡視事業
実施期間：4月～3月（月 2 回程度）
実施場所：都沢湿地
体 制：自然に詳しい個人に依頼（有償活動）

2. 自然学習事業

- 2-1. 自然観察会（別紙②参照）
実施数：年 6 回
体 制：講師：4 回、スタッフ&サポーター：2 回
- 2-2. 里地里山学講座（別紙③参照）
実施数：年 12 回
体 制：講師：12 回
- 2-3. 里地里山学講座 特別講座（別紙③）
実施数：年 2 回
体 制：講師：2 回
- 2-4. いのち学（別紙④）
実施数：年 2 回
体 制：スタッフ、サポーター、講師 1 名
内 容：外来生物駆除活動、その活用（食）を通して、命について考える。

2-5. 学習発表会

開催日：2015年3月8日（日）

2-6. 泥んこ広場活用事業（別紙④参照）

目的：活用目的毎に3つに分けた地域での事業促進

体制：ブロック毎に担当者を決める。

2-7. ワークショップ事業（有償）

目的：身近な自然環境への興味関心を高める若年層向け、親子向けWS

実施数：年10回

内容：木工クラフト、味噌づくりなど

体制：サポーター

参加条件：申込みあり、参加費あり

2-8. ワークショップ事業（無償）

目的：身近な自然環境への興味関心を高める若年層向け、親子向けWS

内容：折り紙、童謡、絵本の読み聞かせ

実施数：年10回

体制：サポーター

参加条件：申込みなし、参加費なし

2-9. 年報制作

毎年、翌年5～6月に発行

3. 里山活用事業

3-1. 薪作業

実施期間：4月～10月

体制：スタッフ及び有償活動（昨年度はサポーター活動）

3-2. 泥んこ広場活用事業

実施内容：ハス区域へのハスの本格的な植栽活動

体制：有識者へ協力をお願いする。スタッフ、サポーター

3-3. 里山マルシェ

実施期間：年1回（開催日未定）

体制：ワーキンググループ

3-4. 湿地の恵み活用事業

体制：ワーキンググループ

内容：ヨシを活用したヨシ紙の制作、ススキを活用したススキのミミズクづくり

ヒシやハスなどを活用した工作、ハッカなどを使ったお茶づくり

*実施については、有償ワークショップ行う。

4. 企画展示

- 3～4月…カタクリ展 (太田 威 氏)
- 5～6月…森のいのちをめぐる展 (斎藤 政広 氏)
- 6～7月…昆虫空間 (高嶋 清明 氏)
- 9～10月…渡り鳥展示 (調整中)
- 11～12月…自然を感じる絵本展 (この本だいすきの会)
- 1～2月…俵雪と雷 (植松 芳平 氏)
- 2～3月…ゆかいな冬芽展 (白崎 孝 氏)

5. 調査研究

5-1. 都沢湿地植生調査

委託：山形大学農学部 林田 光祐 教授

5-2. 大山上池・下池水質調査

委託：山形大学農学部 梶原 晶彦 助教

5-3. 未利用資源 (ヨシ) の生育および成分に関する研究

自主：山形大学農学部 作物生産学研究室 (藤井教授、森准教授)

5-4. サポーター調査活動

- ・歴史文化 (ムジナ供養塔など)
- ・ホテルの生息やギフチョウの産卵調査
- ・自動撮影装置による野生生物調査
- ・指標生物種のモニタリング調査

6. 地域連携事業

6-1. 大山地域まつり連携事業

大山公園さくらまつり、大山犬まつり、大山新酒酒蔵まつりとの連携

6-2. お茶っこ会

対 象：大山地区住民及びサポーター、関係者

回 数：年12回 (月開催、昨年度は1～3月に1回ずつ3回開催)

6-3. まったりギャラリーの開放 (別紙⑤)

6-4. 大山の昔の自然写真募集 (別紙⑥)

7. 連携事業

7-1. 森林文化都市関連施設連携事業

鶴岡市域にある自然学習施設との連携事業を検討する

8. 普及啓発物作成

8-1. ほとりあ周辺の自然情報リーフレットの作成

四季の生きもの紹介

8-2. その他

缶バッジやクリアファイルなどPRするグッズの開発

平成 26 年度 庄内自然博物館構想推進事業 予算

(単位：千円)

項 目	予 算 額	摘 要
報償費	616	講師謝礼 協力スタッフ謝礼 委員会出席謝礼
旅費	76	講師旅費、視察研修他
需要費	1,114	自然環境学習消耗品 里山利活用消耗品 食糧費、木道修繕費
役務費	181	通信費、ボランティア保険料
委託費	800	重機による攪乱作業、調査委託
合 計	2,787	

※上記の予算額は、市の直接経費のうち、専任スタッフの賃金や光熱水費、清掃業務委託等の経常経費を除いたものである。

※外来種駆除等の湿地保全費用は、指定管理委託料に計上されている。

※今年度も庄内広域行政組合より「自然環境学習促進事業」95 万円の交付が継続しており、庄内自然博物館構想ソフト事業へ協力していく。

庄内自然博物園構想推進協議会設置要綱

(名称)

第1条 この会は、庄内自然博物園構想推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、庄内自然博物園構想を推進する区域において、庄内自然博物園構想の理念のもとに市民の主体的参画と協働による自然環境の保全と、自然と触れ合う自然環境学習などの事業を行い、人と自然の共生に資することを目的とする。

(設置)

第3条 前条の目的を達成するため、協議会を設置する。

(所掌事項)

第4条 協議会は、第2条の目的を達成するために、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 自然を体験し、親しみ、学習する講習会、研修会等の企画及び実施
- (2) 湿地、森林、生物多様性の保全
- (3) 前2項に関わる指導者の養成
- (4) その他必要な事項

(組織)

第5条 協議会は、第2条の目的に賛同する市民、学識経験者、団体代表者等の委員で構成する。

2 協議会には、委員の互選により、会長1名、副会長2名を置く。

3 会長は、会議の座長となる。ただし、会長に事故あるときは、副会長がその職務を代行する。

(会議)

第6条 会議は、必要に応じて会長が招集し開催する。

2 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な事業運営に支障が生じると認められる場合は、非公開で行うものとする。

(意見の聴取)

第7条 協議会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門委員会及び運営委員会)

第8条 協議会に専門委員会及び運営委員会を置く。

2 専門委員会及び運営委員会の構成、所掌事項及びその他必要な事項は別に定める。

(事務局)

第9条 協議会に事務局を置き、鶴岡市企画部地域振興課がこれを担当する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会に関して必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年7月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年6月7日から施行する。